

とりわけて寒い冬を通りこした桜はいつもより美しい花を咲かせると申します。不況明けの地方にも夢を咲かせたいものと願ってこんな夢物語りを書きました。「正夢」になってくれればと笑いながらお読み下されば幸いです。

★夢その一 空中駐車場

(仮)中野大橋が開通すると清和、小糸、常代方面から、そして佐貫、大貫、飯野、貞元からも来る道路となります。また、亀橋から大堀、富津方面からと合わせ流入して来る商圈人口は凡そ6万人位かと思われます。しかし、君津駅前ロータリーで行き止りです。木更津駅の東口と西口と全く同じ状況です。そこで夢に画いたのは、JR内房線上に跨線橋と併行して大空中駐車場を作りたい。君津駅、アピタ、更には三井物産株により今後開発が予想されるヨーカドー跡地へのお客は全部ここに駐車をして自由に移動してもらうこと。駐車場の中央車道は中野側から上って坂田口へ下りられ、北口からもまた同じ様に通行して南口へ通行できれば駅前中心街の袋小路はなくなると思うんですが如何？ 資金は「空中駐車場ファンド」を募集したいものです。これからの街作りは自ら出資して挑戦する勇気と先見性が必要です。

★夢その二 君津四市の遊休地有効活用

羽田空港の第2期工事が開始されますが、木更津から羽田空港へ砂を運ぶだけでなく、羽田空港滑走路増設後は、現在の乗降客年6千万人に3千万人増加しますと職員と送迎を合せると利用者は一億人です。更に圏央道・アクアラインが繋がれば、成田空港の乗降客は3千万余人ですので、石原知事が唱える2度目の東京オリンピック開催の可能性を考えますと首都圏で海に面した広大で利便性をもった空間は君津四市以外にはありません。この地域の人すべてが共有できる夢空間に利用したいものです・・・ね。

★夢その三 君津製鐵所発祥地に光を

木更津、君津、富津の今日の発展は新日鐵の進出があったからこそであります。その進出の最大の功労者は人見、神門、大和田の漁民であります。今から凡そ40数年前、地元漁民達の強い反対の中であって、当時のリーダーの方達が次世代の繁栄のために近代産業を迎えるべきだとの命がけでの説得によって実現した君津製鐵所であります。先人達が命をかけて目指した城下町人見、神門、大和田は残念ながら今は夢なかなか実現せずゴーストタウン化しております。かつて川鉄・蘇我地先もそうでありました。JFE蘇我は再開発によって今ハーバーシティ蘇我となりアリオ蘇我を迎えて脚光を浴びております。君津市においても企業城下町の表通りにふさわしい人見地先の開発に是非目をむけて頂きたい。40数年前に、この人見、神門、大和田地区の子、孫達のために描いた夢の実現をさせることによって先駆した人達が犠牲にならない様にして頂きたい。あれから40年余り、いつも陰の部分におかれたこの地区に光があたるよう祈ってやまない夢であります。